

避難所運営

～首都直下地震における地域の対応～



日本大学 危機管理学部危機管理学科
宮脇ゼミナール 地域交流ラボ 大谷チーム

目次

1. 背景・目的

2. 調査方法

3. 調査内容

4. 調査結果

5. 考察・改善案

6. 参考文献



1. 背景 · 目的



研究の背景・目的

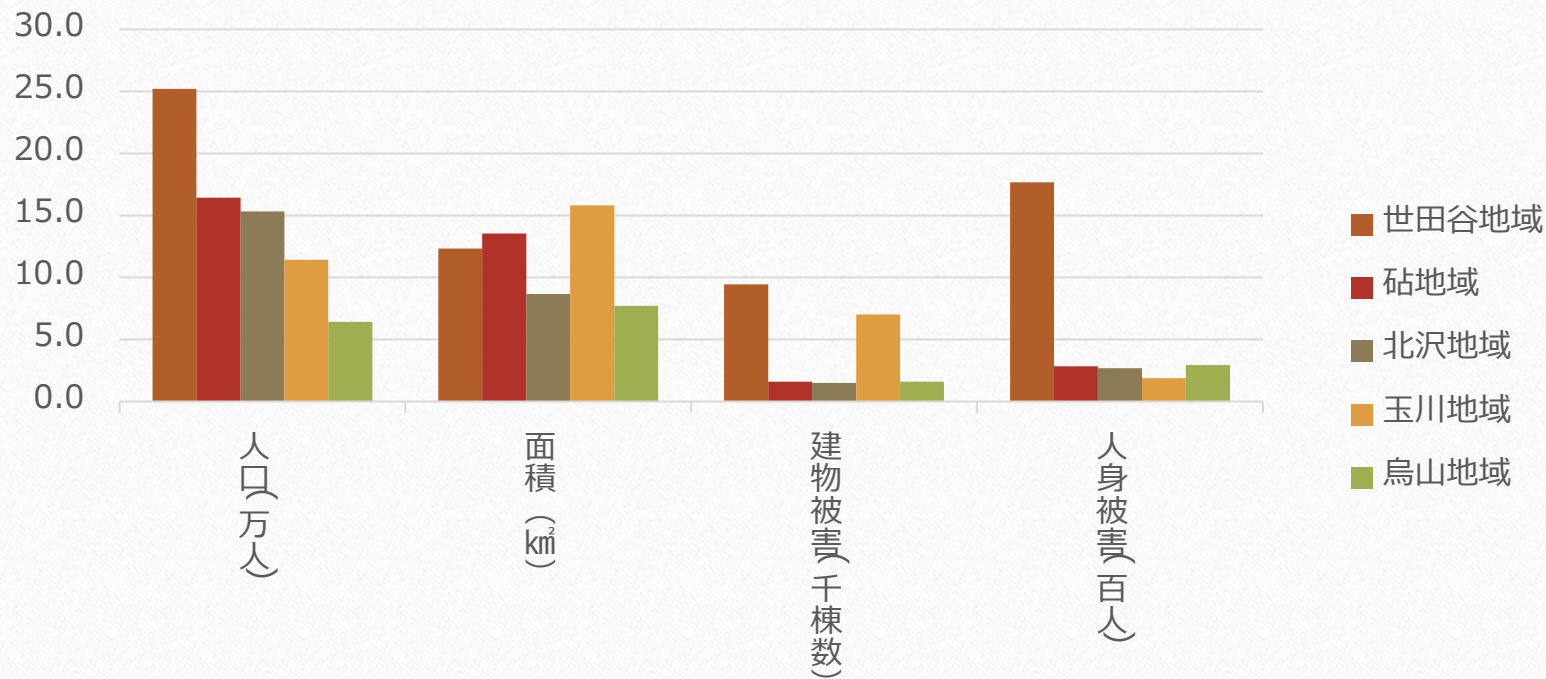
昨今、**首都直下型地震**が起こるといわれ様々な対策なされている。このような大規模災害では災害時だけでなく、その後の**避難所生活**なども考えられ、**心身共に多くの問題**があると考えられる。その中でも、私たちの学校があるこの世田谷区ではどのような**避難所の対策、運営**がなされ、避難所は**機能**するのだろうか。

避難所の目的

- **生命の安全と安心の場**を提供
- **一次的**に居住する場
- 行政や施設の担当者は**後方支援**に協力

**避難して来た人たち自身の協力が
必要不可欠**

世田谷区の被害想定



指定避難所

- 自宅での居住が困難な時、二次災害を受ける可能性がある時に、一時的に生活をするための施設

例) 太子堂小学校 三宿中学校

駒留中学校 太子堂中学校



2. 調查方法



調査方法

- 避難所として運営される施設、世田谷区の防災に関する機関に**聞き込み調査**
- **避難所運営訓練に参加**
- 被害想定、避難器具の設備があるかを調べた**内容のすり合わせ**

3. 調查內容



調査範囲

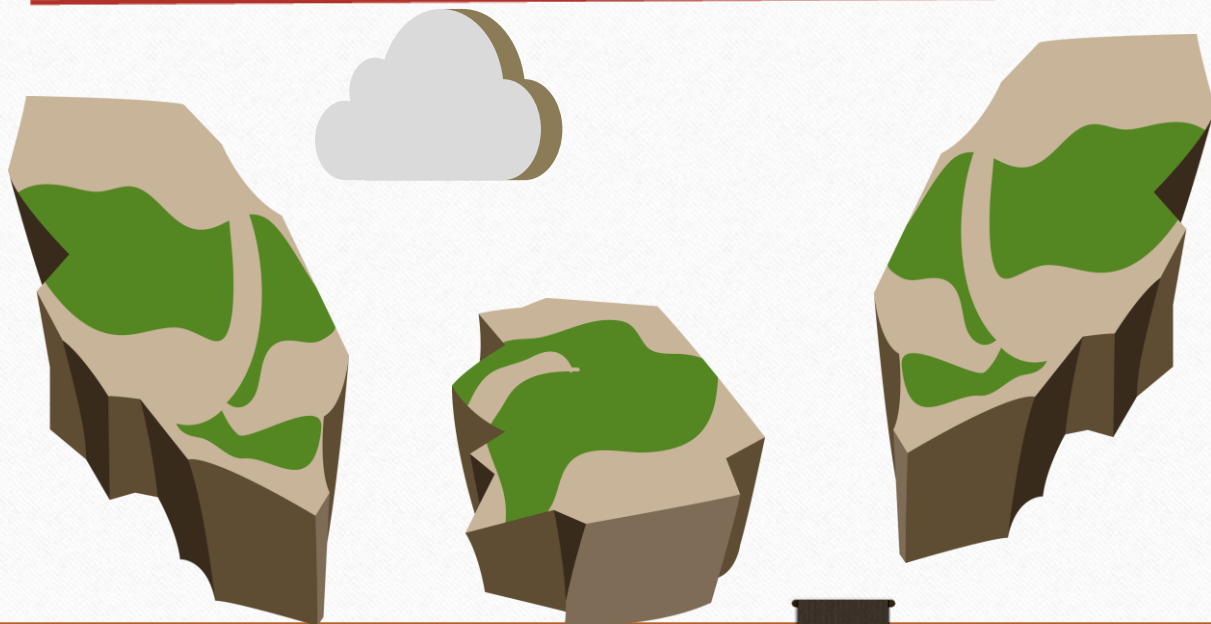


場所：三軒茶屋キャンパス周辺地域の避難所
期間：初動期～展開期まで

調査内容

- 先行研究の確認
- 世田谷区の避難所運営訓練への参加
- 関連施設への質問調査

4. 調查結果



東日本大震災

被災直後から被災住民が避難所に指定されているか否かにかかわらず、避難。

EX) 市役所・区役所・文化ホール・空地 等

⇒想定されていないため混乱

東日本大震災における学校の避難所運営：岩手県立大槌 高等学校の事例(fulltext) (佐々木,幸寿; 矢嶋,昭雄; 福島,正行)
<https://core.ac.uk/download/pdf/15924993.pdf>
(一部抜粋)

阪神淡路大震災

当日中に避難者でほぼ満杯になり遅れてきた人は**悪条件の場所**しかとれず。

EX) 学校では下の階から避難者で埋まっていった

⇒来るのが遅かった**高齢者が上階の教室**にしか入れない

阪神・淡路大震災における避難所の研究 (柏原, 土郎; 上野, 淳; 森田, 孝夫)

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/20789/hanshin-6.pdf>
(一部抜粋)

問題点

- ①指定されていない公共の施設に避難し混乱
- ②災害弱者の対応
- ③運営意識の低さ

問題点に対する回答と考察

①指定されていない公共の施設に避難し混乱

⇒結論的には仕方がない
なぜか？

⇒自然災害である以上不確定
要素が多すぎるため

⇒出来る事を可能な限り行う

②災害弱者(要支援者)の対応

⇒名簿はあるが、具体的な
対応は決まっていない

⇒専用スペースの確保、**共
助の必要性**

5. 考察・改善案

③ 運営意識の低さ

⇒運営を細かく理解している人が2名の地域もあれば、10名いる地域もある

⇒多くの人に認知してもらう必要性がある

世田谷区世田谷地域の現状

- 現在、**地域約6割の自治会**で**要支援者の把握**がされている。
- **自治会の一部の人**がリストとして**管理**をしている。
- 実際に発災した際に**確認**などに行けるのか
- 自治会の中心は**年配の方が多い**

避難所運営訓練に参加して

課題

- 避難所を運営する人たちですら**全体の把握**ができていない
- 物資の配置、鍵の共有等難しい
- 高齢化による**マンパワー不足**

改善策

- 全体を把握してる人を増やす
- 運営に必要なものを見直し、必要なものを場所ごとにボックスでまとめなおす
- 区との連携を取る「自治体特有の運営はととてもよいがサポートがしづらくなるのではないか」

ヒアリング結果

質問内容

Q,避難訓練等が地域ごとによって**内容が異なっている**が、どのように思っているのか？

A,他の地区との違いに関して、どうすべきか

検討中

→**地域ごとに特性**があるため。

Q,もし大学と協力関係を結べるのであれば何をしてもらいたいのか？

A,駆けつけて、ボランティアをしてほしい

地域でつながるイベントを開催してほしい

その他取り組み・備え

日ごろの**コミュニケーション**が大事となる。

→地域のお祭り等に参加してもらい行動がとりやすい状態を作りたい。

備蓄は3日分もないため、各家庭で**1週間程度の量**を用意してもらう。

トイレは**和式**が多く、特に高齢者が大変。マンホールトイレもあるが夜は暗く、特に**子どもや女性**が危険
火災は生じてしまってもこれ以上**被害範囲**を拡大させないようにする。

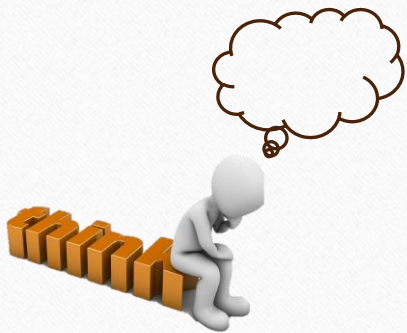
若い人が在宅避難し、高齢者が避難所に集まることで**避難所が高齢化**してしまう。

5. 考察・改善案

□ 避難所運営訓練の**改善の必要性**

□ 訓練の**目的、背景を理解**

□ 集まらなければ出来ないこと、**大勢が認知していないこと**を中心に



提案

大学として地域と関係を結べるような環境づくり

大学生は地域の課題解決に加え、新たな価値の創造

地域はマンパワー不足の解消に

→お互いの問題解決に

EX) 北九州市立大学で実際に行われている

提案に対するメリット デメリット

• 大学

地域の課題解決
+
新たな価値の創造

*懸念点…大学生は4年間
近くに住んでいない

• 地域

マンパワー不足の解消
+
今後の地域のための若い世代への継承

時間が合わない
近くに住んでいないと被災時に助け難しい



大学生が参加者としてではなく運営側として訓練等に参加する

6. 参考文献

- 第9回広域避難場所の指定見直しについて (世田谷区ホームページ)
<https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kurashi/005/003/007/d00160293.html> (一部抜粋)
- 東日本大震災における学校の避難所運営：岩手県立大槌 高等学校の事例(fulltext)
(佐々木,幸寿; 矢嶋,昭雄; 福島,正行)
<https://core.ac.uk/download/pdf/15924993.pdf> (一部抜粋)
- 阪神・淡路大震災における避難所の研究 (柏原, 士郎; 上野, 淳; 森田, 孝夫)
<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/20789/hanshin-6.pdf> (一部抜粋)
- 震災時に想定される避難所運営の課題～防災訓練参加者調査から～ (渡辺裕子)
[本文/A7022D \(surugadai.ac.jp\)](http://www.surugadai.ac.jp) (一部抜粋)
- シチュエーションで学ぶ 避難所の立ち上げから管理運営 エマルゴトレインシステム手法を用いて
監修：山崎達枝 編集：江部克也 (p33～)

ヒアリング・調査に回答してくださった皆様、誠にありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました

